

- 問1 EU加盟国であるチェコとオーストリアの国境付近では、かつて存在した検問所のような施設が使われなくなり、車が一時停止することなく通過する様子が見られます。EU域内でこのような移動が可能となった状況の説明として、最も適切なものはどれですか。（2025年 青森県公立入試 類似）
1. すべてのEU加盟国において、共通通貨ユーロを持っていれば国境を通過できる
 2. 国境付近での治安維持のため、入国する全ての車両に対して厳格な荷物検査が行われる
 3. 国境を通過するすべての旅行者に対して、事前にビザの取得が義務付けられている
 4. 協定を結んだ国同士の国境では、原則としてパスポート検査なしで通過できる
- 問2 イギリスやドイツの宗教構成を示す統計において、プロテスタントやカトリックといったキリスト教の諸宗派と並び、近年、人口の約4割から5割に達する大きな割合を占めている層として正しいものを選びなさい。（2018年 愛知県公立入試 類似）
1. 特定の宗教を信仰しない無宗教層
 2. 仏教を信仰する東洋系移民の層
 3. 南欧で主流となっているカトリック層
 4. 東ヨーロッパに多い正教会の層
- 問3 1989年の冷戦終結宣言や1991年のソビエト連邦解体といった国際情勢の大きな変化を経て、ヨーロッパ諸国は経済面だけでなく政治的な統合もさらに深める必要に迫られました。その結果、1993年に発効したある条約に基づいて発足した、現在のヨーロッパの統合組織の名称と、その根拠となった条約の正しい組み合わせを選びなさい。（2026年 山梨県公立入試 類似）
1. ヨーロッパ経済共同体（EEC） — ローマ条約
 2. 北大西洋条約機構（NATO） — 北大西洋条約
 3. 国際連合 — 国際連合憲章
 4. ヨーロッパ連合（EU） — マーストリヒト条約
- 問4 イタリアで見られる「地中海式農業」の特徴を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。（2023年 熊本県公立入試 類似）
1. 広大な平原と肥沃な黒土を活かして、輸出用のトウモロコシやひまわりを栽培する。
 2. 夏の乾燥に強いオリーブやブドウ、冬の降水を利用した小麦などを栽培する。
 3. 冷涼な気候を活かして、都市向けの生乳を出荷する酪農や、ポテトの栽培を行う。
 4. 一年を通じて降水量が多いことを利用し、大規模な機械化による稲作を行う。
- 問5 ヨーロッパに位置する国のうち、輸出相手国の第1位がアメリカ合衆国（約12.1%）であり、同時に輸出総額の4割以上（約43.4%）をヨーロッパ連合（EU）の加盟国が占めるなど、欧米の両地域と強い経済的結びつきを持つ国はどこか。（2025年 栃木県公立入試 類似）
1. ドイツ
 2. オランダ
 3. イギリス
 4. フランス
- 問6 日本のエネルギー供給の特徴とその課題について述べた文として、2017年時点の発電構成の状況を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）
1. 広大な国土を活かした風力発電が全発電量の半数を超えており、余った電力を近隣諸国へ輸出している。
 2. 環太平洋造山帯に位置する利点を活かして地熱発電を主力としており、再生可能エネルギーのみで電力を自給している。
 3. 火力発電が全発電量の約7割以上を占めているが、その燃料となる化石燃料の多くを海外からの輸入に依存している。
 4. フランスと同様に原子力発電を主な電源としており、全発電量の約7割を賄うことで高いエネルギー自給率を維持している。
- 問7 ヨーロッパの国々と通貨の関係について、現在の状況を正しく説明しているものはどれですか。（2026年 山口県公立入試 類似）
1. ユーロは紙幣や硬貨が存在しない通貨であり、銀行間のデジタル決済のみで利用されている。
 2. 経済政策の自由度を保つなどの理由から、EUに加盟していてもユーロを導入していない国がある。
 3. EUに加盟しているすべての国は、加盟と同時に必ずユーロを導入する義務を負っている。
 4. 一度ユーロを導入した国であっても、景気が悪化した際には自由に旧通貨を再発行して併用できる。
- 問8 欧州連合（EU）に加盟した東欧の諸国において、近年見られる経済的な変化とその要因について述べた文として、正しいものはどれですか。（2017年 鳥取県公立入試 類似）
1. 加盟後に導入された共通通貨の効果により、加盟前よりも賃金が大幅に高騰したため、工業から金融業中心の経済へと転換した。
 2. EU域内の移動が自由になったことで、労働力がすべて西ヨーロッパへ流出したため、国内の工場は閉鎖され農業が主産業となった。
 3. 加盟国間の関税が撤廃されたことを利用し、西ヨーロッパ諸国に比べて低い賃金を背景に外国企業を誘致したことで、工業化が進展した。
 4. 加盟によって高い関税が維持されたため、他国からの投資を拒絶し、自国の伝統的な軽工業を保護することで経済成長を達成した。
- 問9 北緯60度付近の大西洋上に位置する島国であるアイスランドは、高緯度であるにもかかわらず、国土の南部は緯度の割に温暖な気候となっています。このようにアイスランドが比較的温暖である主な理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 東京都公立入試 類似）
1. 周辺を流れる寒流の影響により大気が安定し、年間を通じて日照時間が非常に長いため。
 2. 沖合を流れる暖流である北大西洋海流と、その上空を吹く偏西風の影響を受けているため。
 3. 赤道付近から発生する熱帯低気圧が頻繁に通過し、暖かい空気と大量の雨をもたらすため。
 4. 火山活動が活発であり、地熱によって島周辺の海水温と気温が常に上昇しているため
- 問10 アルプス山脈に源を発し、ドイツやフランスなどの国境付近を通りながら北海へと注ぐライン川のように、複数の国をまたいで流れ、条約によってどの国の船でも自由に航行することが認められている河川を何と呼びますか。（2022年 奈良県公立入試 類似）
1. 潮汐河川
 2. 外來河川
 3. 運河
 4. 国際河川
- 問11 世界の統計データにおいて、1人あたりの国内総生産（GDP）が1万ドルを超えており、年間の二酸化炭素総排出量が1500百万トン程度の規模を持つ国があります。この国の排出量が多い背景として、最も適切な説明はどれか。（2018年 兵庫県公立入試 類似）
1. 人口が世界で最も多く、急速な経済発展に伴う工業化によって、石炭を中心としたエネルギー消費が爆発的に増加したため。
 2. アフリカ大陸で有数の経済規模を誇り、金やダイヤモンドなどの鉱業が盛んであるが、1人あたりの国内総生産は5000ドル程度にとどまっているため。
 3. 広大な国土と寒冷な気候により、暖房や輸送のためのエネルギー消費が多く、原油や天然ガスなどの資源産業も盛んであるため。
 4. 1人あたりの国内総生産はまだ低い水準にあるが、人口が14億人を超えており、安価な電力を供給するために石炭火力発電に依存しているため。
- 問12 デンマークやノルウェーなど、北欧諸国で盛んな「酪農」という農業形態について、その生産物の特徴を正しく説明しているものを選びなさい。（2026年 兵庫県公立入試 類似）
1. 生乳だけでなく、保存性の高いチーズやバターなどの乳製品を生産し、輸出も行っている。
 2. 温室を利用して、冬の寒さを避けながらトマトやキュウリなどの夏野菜を生産している。
 3. 広大な牧場を移動しながら、羊やヤギの毛を採取して衣類の原料として出荷している。
 4. 主に自給用として、トウモロコシやジャガイモなどの根菜類を家畜の飼料とともに生産している。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 協定を結んだ国同士の国境では、原則としてパスポート検査なしで通過できる	シェンゲン協定により、加盟国間の国境におけるパスポート検査などの出入国審査が原則として廃止されています。これにより、国内を移動するかのよう国境を越えることが可能です。「共通通貨ユーロ」は通貨に関する枠組みであり、すべてのEU加盟国が導入しているわけではなく（チェコなどは未導入）、また国境検査の有無とは直接関係しません。
問2	答え 1 特定の宗教を信仰しない無宗教層	西欧や北欧の先進諸国では、社会の世俗化や価値観の多様化が進んでおり、伝統的なキリスト教の枠組みに属さない人々が増加しています。イギリスやドイツの宗教別人口割合をみると、プロテスタントとカトリックが混在する一方で、いずれの宗教も信仰しない「無宗教」の割合が40%から50%近くにまで上昇しているのが現代のヨーロッパにおける大きな特徴の一つです。
問3	答え 4 ヨーロッパ連合（EU） — マーストリヒト条約	第二次世界大戦後の冷戦構造が崩壊したことで、ヨーロッパでは市場の統合のみならず、共通の外交・安全保障政策や市民権の導入といった政治的な統合を目指す動きが強まりました。1993年にマーストリヒト条約が発効したことにより、これまでの協力枠組みを発展させる形でヨーロッパ連合（EU）が正式に設立されました。
問4	答え 2 夏の乾燥に強いオリーブやブドウ、冬の降水を利用した小麦などを栽培する。	イタリアが位置する地中海沿岸部では、夏に乾燥し冬に雨が降る地中海性気候が見られます。この気候に合わせて、夏場は乾燥に強いオリーブ、ブドウ、オレンジなどの果樹を育て、冬の雨を利用して小麦を栽培する地中海式農業が発達しました。
問5	答え 3 イギリス	この国は、英語を共通言語とすることや歴史的なつながりから、アメリカ合衆国にとって重要な貿易相手となっています。一方で、地理的に近接するヨーロッパ諸国とも深い経済的関係を維持しており、輸出額の4割以上をEU加盟国が占めています。18世紀には産業革命をいち早く達成し、「世界の工場」と呼ばれた歴史を持つことも特徴です。
問6	答え 3 火力発電が全発電量の約7割以上を占めているが、その燃料となる化石燃料の多くを海外からの輸入に依存している。	日本の発電構成は火力発電への依存が大きく、その燃料となる石炭・石油・天然ガスといった化石燃料のほとんどを海外からの輸入に頼っています。このため、国際情勢の変化が日本のエネルギー供給や電気料金に直接影響を及ぼしやすいという課題を抱えています。フランスが原子力、日本が火力に頼っているという対比を理解することが重要です。
問7	答え 2 経済政策の自由度を保つなどの理由から、EUに加盟していてもユーロを導入していない国がある。	EU加盟国であっても、独自の金融政策を維持したいという考えや、自国の経済状況との適合性を考慮し、ユーロを導入せずに自国通貨を使用し続けている国（デンマーク、スウェーデンなど）が存在します。また、離脱前のイギリスもポンドを使用していました。このように、EU加盟が必ずしもユーロ導入と一致するわけではない点が特徴です。
問8	答え 3 加盟国間の関税が撤廃されたことを利用し、西ヨーロッパ諸国に比べて低い賃金を背景に外国企業を誘致したことで、工業化が進展した。	チェコなどの東欧諸国は、EU加盟による関税撤廃というメリットを活かし、外国企業を呼び込むことで工業化を成功させました。特に自動車産業などにおいて、ドイツなどの先進工業国に比べて賃金が低いことは、多国籍企業が工場を設置する際の大きな利点となります。このような「賃金格差」と「自由貿易（関税撤廃）」の関係を理解することが重要です。
問9	答え 2 沖合を流れる暖流である北大西洋海流と、その上空を吹く偏西風の影響を受けているため。	アイスランドや北ヨーロッパの西岸は、高緯度にありながら暖流である北大西洋海流の影響を受けています。この暖流の上を吹く偏西風が、暖かく湿った空気を陸地へ運ぶため、同緯度の他の地域に比べて冬の寒さが和らげられ、比較的温暖な気候となります。
問10	答え 4 国際河川	複数の国の領土を流れる河川のうち、条約に基づいてすべての国の船舶に開放されているものを国際河川といいます。ライン川はスイス、ドイツ、フランス、オランダなどを通過し、ヨーロッパの物流において重要な役割を果たしています。これに対し、乾燥地帯を貫流するナイル川などは外来河川と呼ばれます。
問11	答え 3 広大な国土と寒冷な気候により、暖房や輸送のためのエネルギー消費が多く、原油や天然ガスなどの資源産業も盛んであるため。	記述された統計数値（1人あたりのGDPが1万ドル超、二酸化炭素排出量が約15億トン）に該当する国はロシアである。ロシアは広大な領土を持ち、冬の寒さが厳しいため暖房や移動に多大なエネルギーを必要とする。また、主要産業が原油や天然ガスなどのエネルギー資源の採掘・輸出であることも、二酸化炭素排出量が多くなる要因となっている。選択肢にある中国やインドは、総排出量こそ多いものの、1人あたりの国内総生産はロシアと比較すると低い水準にあるため区別できる。
問12	答え 1 生乳だけでなく、保存性の高いチーズやバターなどの乳製品を生産し、輸出も行っている。	酪農は、乳牛を飼育して生乳を得るだけでなく、それらを加工してチーズやバターなどの乳製品を作ることを含みます。特に北欧諸国やデンマークでは、これらの乳製品が重要な輸出産業にもなっています。移動しながら家畜を飼うのは「遊牧」であり、野菜の温室栽培は「促成栽培」などに分類されるため、酪農の定義とは異なります。